

## 自己評価報告書

平成 23 年 5 月 5 日現在

機関番号：32601

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530420

研究課題名 (和文) 企業買収による価値創出プロセスに関する理論的・実証的研究

研究課題名 (英文)

A study of value creating process in mergers and acquisitions

研究代表者

高橋 邦丸 (TAKAHASHI KUNIMARU)

青山学院大学・経営学部・教授

研究者番号：10276016

研究分野：管理会計

科研費の分科・細目：経営学・会計学

キーワード：企業買収、価値創出、組織間関係、経営資源

## 1. 研究計画の概要

本研究では (1) M&A における買収対価の支払手段の違いや敵対性の有無といった要因が、経営者の裁量的マネジメント行動や企業業績にどのような影響を及ぼすのかということと、(2) M&A や組織間関係性の構築によって持続的な競争優位をもたらすための要因や経営資源が企業業績に及ぼす影響について理論的および実証的に分析することを目的としている。

## 2. 研究の進捗状況

(1) M&A に関連する諸要因が経営者の裁量的マネジメント行動や企業業績にどのような影響を及ぼすのかについては以下の 2 点から分析を行っている。

- ① わが国において買収対価の支払手段の選択が可能となった 1999 年 10 月以降のサンプルを用いて、株式分割制度や株式交換・移転制度といった法改正が M&A 取引や経営者の裁量行動に及ぼす影響について買収前後のアクルーアル (会計発生高) の大きさを測定することによって分析を行い、支払手段の違いが経営者の裁量マネジメント行動に異なる影響を及ぼしていることを示した。また株式交換を行った企業の買収プレミアの大きさが経営者の裁量マネジメント行動に影響を及ぼしていることについても明らかにした。
- ② クロスボーダー取引が活発化していることに関連して、ターゲット企業が国内企業か否かで買収企業

の成長性や収益性に顕著な違いが見られるかについて 1996 年から 2003 年にかけて M&A を実施した 248 社の分析を行い、ROE の構成要素に相違が見られることや国内企業同士のほうが買収後の ROE が高くなっていることを明らかにした。

- (2) M&A や組織間関係性の構築によって持続的な競争優位をもたらすための要因や経営資源が企業業績に及ぼす影響について理論的および実証的に分析することについては、主として顧客関係性に焦点を当てた分析を行っている。分析方法としては、有価証券報告書に記載されている主要顧客に関する情報を用いて特定企業との取引を強化することや継続することがサプライヤー企業および顧客企業双方の業績にどのような影響を及ぼすかについて財務データを用いて分析を行っている。分析の結果、主要顧客との関係性構築による財務的なメリットは主要顧客企業だけでなくサプライヤー企業にも見られることなどを明らかにした。

## 3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

研究計画に基づき初年度および 2 年目については、研究計画の (1) を行い 2 本の論文としてまとめている。また (2) については 2 年目以降に行い主として海外の学会を中心として報告を行ったほか 2 本の論文としてまとめている。

4. 今後の研究の推進方策

(1)経営資源の種類や大きさの違いが組織間関係構築にどのような影響を及ぼすかについて理論的・実証的に明らかにする。

(2)主要顧客関係性をより強固にするための株式持ち合い制度やM&Aについて実証的な分析を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

高橋邦丸, 「持続的競争優位獲得のためのM&A戦略」, 青山経営論集, 査読無し, 第44巻第1号, 2009年, pp. 95-118.

高橋邦丸, 「クロスボーダーM&Aと国内企業M&Aにおける買収企業の長期業績」, 青山経営論集, 査読無し, 第44巻第2号, 2009年, pp. 67-90.

佐々木郁子, 椎葉淳, 高橋邦丸 「主要顧客比率が企業業績に及ぼす影響について」, 原価計算研究, 査読有, 第34巻第2号, 2010年, pp. 116-126.

高橋邦丸, 椎葉淳, 佐々木郁子 「顧客関係性戦略と企業業績との関係について」 青山経営論集, 査読無し, 第45巻第1号, 2010年, pp. 177-96.

高橋邦丸, 椎葉淳, 佐々木郁子 「組織間関係における株式保有構造と主要顧客企業の業績について」 青山経営論集, 査読無し, 第45巻第4号, 2011年, pp. 1-26.

〔学会発表〕(計4件)

佐々木郁子, 椎葉淳, 高橋邦丸, 主要顧客比率が企業業績に及ぼす影響について, 日本原価計算研究学会全国大会, 2009年9月7日, 一橋大学.

Ikuko Sasaki, Atsushi Shiiba and Kunimaru Takahashi, Supplier-Customer Relationship and Financial Performance, 21<sup>st</sup> Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, Las Vegas, USA, November 24, 2009.

佐々木郁子, 椎葉淳, 高橋邦丸, 顧客関係性戦略についての実証研究, 日本原価計算研究学会全国大会, 2010年7月3日, 小樽商科大学.

Ikuko Sasaki, Atsushi Shiiba and Kunimaru Takahashi, Inter-Organizational Relationship, Corporate Equity Ownership, and Financial Performance, 22<sup>nd</sup> Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues, Gold Coast, Australia, November 10, 2010.

〔図書〕(計1件)

Kunimaru Takahashi, *The Method of Payment in Takeovers and Earnings Management, M & A for Value Creation in Japan*, Yasuyuki Korokawa editor, World Scientific, 2009, pp. 35-52.